

# 飛騨地域における観光資源のアクセス改善のための実証事業【飛騨地域】

飛騨地域を訪れる外国人旅行者は増加傾向にあるが、訪問先は高山市中心部の古い町並や白川郷に偏っている。また、旅行形態が団体から個人へ急速に変化しており、個人旅行者が飛騨地域を周遊するための二次交通の改善が必要となっている。そのためタクシー事業者等と連携して周遊・滞在促進を目的に実証事業を実施した。

## 事業実施地域における背景・課題

### 《広域的背景・地域的課題》

飛騨地域には、外国人旅行者等に人気の高山市「古い町並」や白川郷の他にも魅力的な観光スポットが数多く存在するが、鉄道や路線バスによるアクセスが困難な場所も少なくはなく、外国人旅行者等の認知度は決して高くない。

## 効果検証・事業評価

○多様な関係者による検討会を4回開催

- ・商品造成に向け、事業者や自治体等の課題・役割を確認。
- ・タクシーを利用し周遊する着地型商品を造成した際に、プロモーションや予約を一元的に行える体制を検討。

○外国人モニター調査、秋季と冬季とでモデルコースを実施。

- ・鉄道やバスなど二次交通が無い地域での周遊観光や日没時間に合わせたナイトツアーでは、ダイレクトに観光スポットへ行くことができるタクシーを活用した効果があった。

- ・目的地への移動車内にて、通訳案内士が飛騨地域の歴史や文化について紹介することで満足度の向上に繋がった。

- ・秋季のモニターや運転手からの意見を踏まえ、冬季の旅程案や運用方法を改良。モニターからの評価も概ね高い結果となった。

○本事業を通じ、将来的な運営体系のイメージをとりまとめた。

## 次年度以降の取組

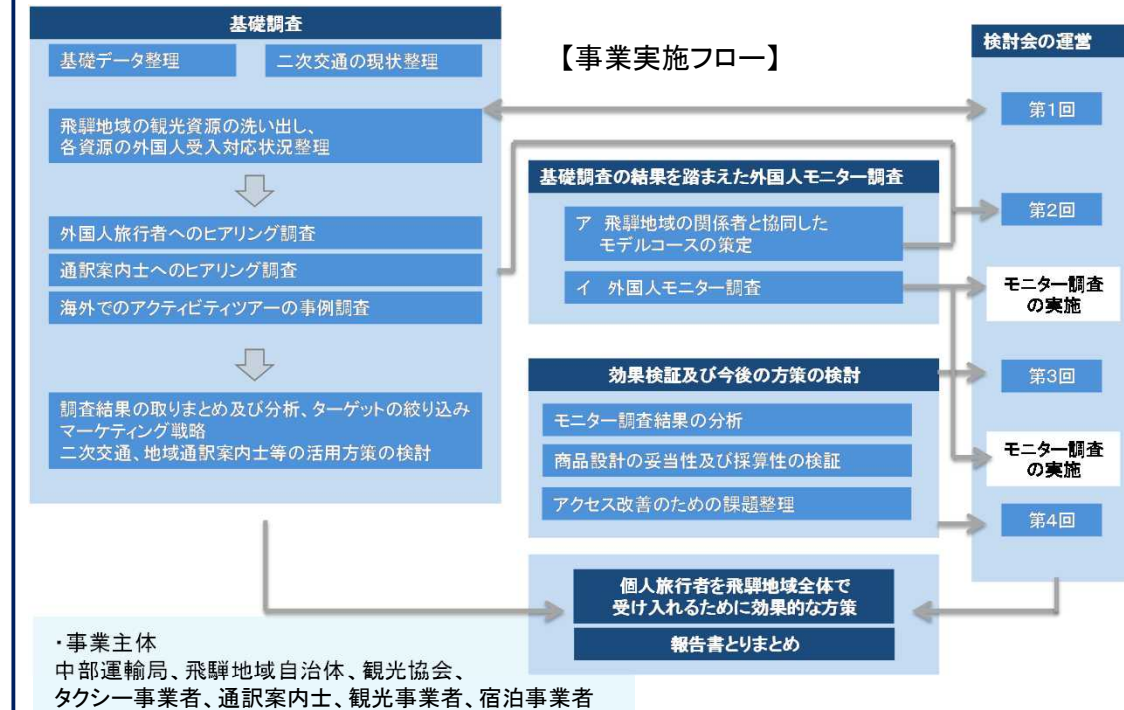
### 《事業実施地域での今後の取組》

本事業で得られた知見を関係先へ周知の上、飛騨地域の自治体の主導により、タクシー事業者と通訳案内士が商品造成に向けた情報交換を図るなど、日常的に双方が連携できるような体制作りを推進。また、本事業でとりまとめた将来的な体系イメージの実現を目指し、関心の高い事業者が先行的な事業化を検討できるよう、関係者が協議できる場を設けることで、引き続き磨き上げを図っていく。

### 《ブロック内の他の地域での今後の取組》

本事業と環境が類似した地域(観光資源が点在し自己手配型FITが客層の中心である地域)に対し、本事業での知見を展開し、情報共有を図る。

## 事業概要



【検討会の様子】



【モニター調査の様子】